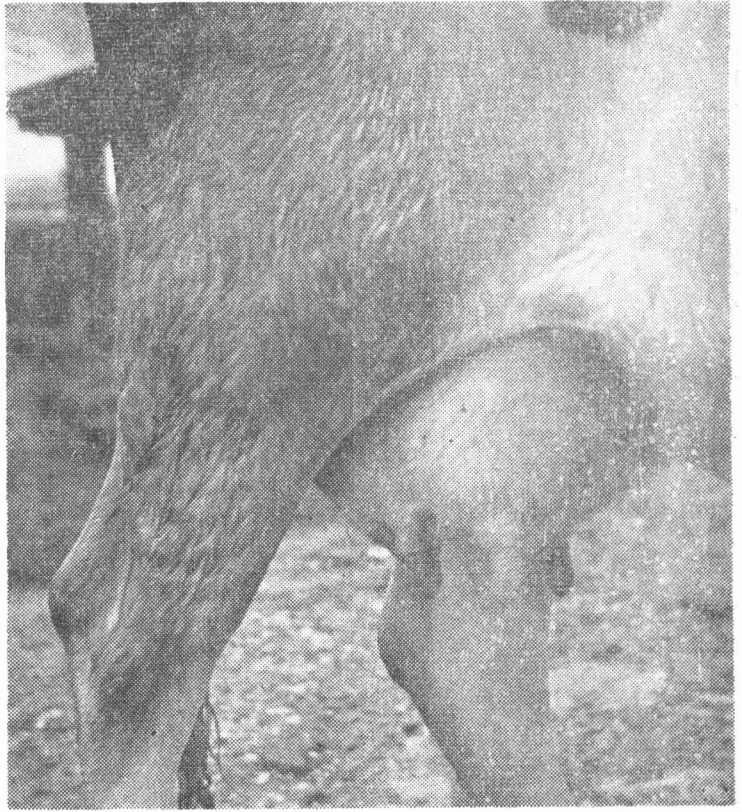


# 琉球大学学術リポジトリ

## 農業経営と生産

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新垣, 真保 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19645">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19645</a>



右は乳房炎のため完全な機能の停止した乳頭、他の  
3乳頭は健全なものです。大きさを比較して下さい。

## 農業経営と生産

農業は生産であると同時に企業であるから、一定面積の土地を活用することにより、最大の純益を得ることが標である。換言すれば作物と家畜を材料として、土地、資本、技術、労力

を如何に活用すれば、最大の純益を挙げることが出来るかを考究し、決定し、そしてそれを実行に移したものが農業である。のように農業経営究極の標は最大の純益を獲得することである。

下垂した乳房に起り易い、潮紅して温熱疼痛ある大腫脹を生じ指圧痕を印する（指で押すと其の痕跡が残る）皮下織に沿って拡がるから乳房の各区に關係なく横に蔓延し乳腺及び乳槽輸尿管を侵さないから病初に於ては乳質には変化はない。

療法 創面を処理し初期は二、三硼酸水、醋酸鉛溶液（蒸溜水一〇〇〇ccに對して醋酸鉛一〇瓦、醋酸液溝を溶かす）又ブロー氏液（蒸溜水一〇〇〇ccに對して醋酸鉛五瓦、明ばん一瓦を溶かす）等で冷湿布を行い此を一日数回繰返へす、又ペニシリンの筋注（前同様）を行い冷湿布によつても腫の軽減が来ない場合は速かにイクタモール軟膏、樟腦軟膏或は鉛糖軟膏等を乳房全面に塗布する其の時は乳房を微温湯で清拭して乾燥させた後丁寧に皮膚にすり込む様にして塗布する、鉛糖軟膏の代りに醋酸鉛五瓦明ばん一瓦を五〇ccの蒸溜水に溶解して此にメリケン粉を適度の硬度にねつて使用する。法もある。

最後に本症は病初に於ける正確な診断と其の処置が大切で其れを誤ると速に慢性に移行せしめ終に不治の結果を招くので乳房に少しでも変状を認めた場合は速に獣医師に診断を乞うて早期に処置する事が何よりである。

（追記）本文は専門的な用語が多くや、難解であります。その代りつとめて正確に述べてあります。精読を希望いたします。（宮 城 正 夫）

るが、そのためには、出来るだけ生産費を安くすること。並びに高価で売れる品をより多く生産し、高価で売れる時期により良い価格で販売すること等が必要である。

経済原理の少費多獲である。従つて農業経営の目標を達成するためには、経営の技術と生産の技術が双つとも高度に遺憾なく發揮されなければならない。即ち農業は種々なる要素を経営者自身で組立て、活用し、生産を挙げ、そしてそれを販売して始めて純利を獲得することの出来る企業であるから、生産の技術は経営の目標である最大の純益を獲得するという大目標

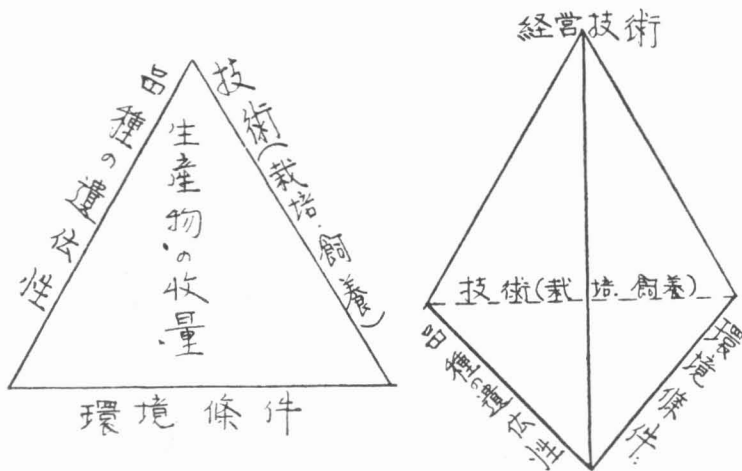
に統合され、該、機運の手段となつてこそ価値がある。然し何といつても農藝經營に於ては、巨機運のために先づ生産しなければならぬから、その基礎として生産の原理を明らかにする必要がある。

農業生産の面 に於て一定面積の土地、又は資本の活用により、最大の生産を挙げるといふ目的を達するために、作物と家畜に就ての生理に基く次のような理論が考えられるようになった。即ち①作物や家畜自体の遺伝性、②環境条件、③技術(栽培又は飼養の技術)以上三つの条件が揃わなければ生産物の収量の多きも望めないし、従つてその増大も期待出来ないということになる。即ち ①農業生産の中心をなすものは作物や家畜自体であつて、それの持つ生産能力の優劣が生産の成否を決定する。特に品種の持つ先天の性質、遺伝性が優秀でない限り、到底生産の増大及び品質の向上は望まれない。苦しい品種の持つ遺伝性が悪ければ、作物の栽培や家畜飼養の技術に欠けるところが無くても結局は充分な生産は望まれないということになる。

②次に遺伝性に關して環境条件が因襲となつて来る。氣候風土がその作物や家畜の生育を完全に許さない場合には、たとえ遺伝的に優秀な能力を備えるものであつても、生育不良に陥り充分な生産は得られない。のみならず環境の影響は、その不良の程度に応じて現れ、生産物の減収を来し、極端な場合は、生産皆無は勿論のこと、生物体の生存さえ許さない場合がある。それ故作物の栽培や家畜の飼養に當つて理想とするところは、作物や家畜自体の遺伝的性質が極めて優良であると同時に、環境が良好で生育が完全に行われ、その作物や家畜の能力が充分に發揮されることを望む訳であるが、總ての場所が必ずしもかかる条件を備えているとは限らない。否環境として完全な場合は殆んど無いといつてよい。従つて自然のままでは生産の効果は著らないのである。

③然し環境条件が多少悪くても、人力によつてそれを改善して、作物や家畜の育する能力を原る点まで發揮させることは可能である。即ち耕地の水の不足する場合は、人工的に灌漑を行い、瘦せた土地には耕うん、施肥に依つて養分を増加し又土壌

の物理的性質を改良して生育を助長させ、特別な場合には温床温室の設備さえして適当な温度を与える等の事により、環境条件を改善し、以て作物栽培や家畜飼養の目的を達することが出来るのである。それが所謂作物の栽培や家畜飼養の技術である以上作物や家畜の持つ遺伝性、環境条件、栽培、飼養の技



術三者の間に合理的調和が得られれば、作物や家畜は最大の能力を發揮して生産の目的たる最大の生産と最大の純益が実現される訳である。今其の關係を圖で示せば次の様な三形形を以て現すことが出来る。

即ち生産物の 収量と品質は最大の生産としてその面積となり作物や家畜の遺伝性、環境条件、技術栽培、飼養の技術は三辺を形づくる。何れの辺も同等に満足すべき状態に一となれば三形形は正三角を示して面積は最大となり、最大の生産が得られ、若し何れかの辺に不足があつて一を示さなければ三形形は不等辺となり、面積は減少し、更に極端な場合は辺を欠いて遂に三形形を作り得ないことになつて、作物や家畜の能力は發揮されず生産の目的は達せられないことになる。故に作物や家畜の生産の増大にはこの三形形の各辺の増大、従つてその面積の増大に努力が払はなければならない。即ち作物や家畜の生産の最大を期待するには、先づ作物や家畜の持つ先天的能力—遺伝性、これは品種によつて異なるものであるが、それに就いて充分の検討を加えなければならず、更にそれに基いて氣候、風土との關係を究め、栽培、飼養の適當な方法を考究せねばならないということになる。尚前にも述べた通り、それらの三つの条件は生産要素として三形形の三辺を形成するものであるが、これらの生産要素は經營の技術によつて統合され、そしてその經營技術を頂点とする三角錐の立体を形づくるとき、經營の技術が高ければ高い程その体積は増加し、その究極の目標である最大の純益を挙げることが出来るということになる。

(新垣 眞保)

# 台所の改善

(その一のつづき)

## △流しの構造

流しの構造にも、一槽、一槽、など種々ありますが、今迄の「流し」は殆んど、凡てが一槽です。特に、農家では、畑から掘つてきた芋や、大根の土の洗いおとしをする流しは、普通の流しの傍に、もう一つ設けないもので